

クリスマス／アヴェ・マリア ウィーン室内弦楽オーケストラ

ウィーン室内弦楽オーケストラは、ウィーンで活躍するソリストを中心として結成された弦楽合奏団です。コンサートマスターは、ウィーンの名高い音楽賞「ウィーン・アーティスト・オブ・ザ・イヤー」の受賞歴がある、シャンドル・ヤヴォルカイが務めます。

この「クリスマス／アヴェ・マリア」公演は、ソプラノ歌手を迎え、J.S.バッハ(グノー編曲)、シューベルト、カッチーニによる3大「アヴェ・マリア」を演奏します。初来日となる2名のソプラノ歌手、アレクサ・ドロッチャ・サボ、チェンゲ・アンナ・ピガニは、どちらも透明感のある伸びやかな歌声を持ち、この清らかな名曲「アヴェ・マリア」にぴったりのソプラノです。教会での演奏を思わせる、温かな響きに満たされる公演となるでしょう。サボはリスト音楽院で学び、オラトリオを中心に研鑽を積み、モーツァルトを得意とし、「レクイエム」のソリストやジュール国立劇場にて「フィガロの結婚」バルバリーナとして出演しています。ピガニはオペラを中心に学び、ドニゼッティ「リタ」のタイトルロールやメノッティ「電話」の主演ルーシーなど、様々な作品に出演しています。今後の活躍が期待される若き2名のソプラノ歌手にご期待ください。

プログラム J.S.バッハ(グノー編曲):アヴェ・マリア
シューベルト:アヴェ・マリア
カッチーニ:アヴェ・マリア
J.S.バッハ:G線上のアリア
ヴィヴァルディ:「四季」より「冬」
サン＝サーンス:「動物の謝肉祭」より「白鳥」
パッヘルベル:カノンとジーク
マスネ:タイスの瞑想曲 ほか

出演 ウィーン室内弦楽オーケストラ
アレクサ・ドロッチャ・サボ(ソプラノ)
チェンゲ・アンナ・ピガニ(ソプラノ)



ウィーン室内弦楽オーケストラ



アレクサ・ドロッチャ・サボ
(ソプラノ)

チェンゲ・アンナ・ピガニ
(ソプラノ)

12/12(木) 18:30開演(17:30開場)
大ホール

発売中
全席指定

一般 3,800円 友の会 3,300円 学生(高校生以下) 1,500円
※未就学児入場不可

サンポートホール高松開館20周年記念事業

若きヴィルトゥオーゾを300席で聴く 中野りなヴァイオリンリサイタル

2021年に日本で最も伝統と権威のある第90回日本音楽コンクール優勝。併せて岩谷賞、レウカディア賞、鷲見賞、黒柳賞、増沢賞を受賞。2022年第8回仙台国際音楽コンクールにおいて、史上最年少の17歳で優勝、及び聴衆賞を受賞し大きな注目を浴びる。以降、主要オーケストラとの共演やリサイタル等の演奏活動をはじめ、2022年3月19日放送「題名のない音楽会-あの神童たちは今! 世界に羽ばたくニュースターの音楽会」に出演するなど、現在、最も将来が期待される若手ヴァイオリニストとして高い評価を得ている中野りな。その成熟した技巧と類稀な気品にあふれた洗練された音を、サンポートホール高松の300席の小ホールで聴く、贅沢なひと時をぜひお楽しみください。

使用楽器:1702年製 アントニオ・ストラディバリウス(ライアル)(一般財団法人ITOHより貸与)

プログラム モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ第32番 へ長調 K. 376
モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ 第40番 変ロ長調 K. 454
～休憩～
エルンスト:無伴奏ヴァイオリンのための6つの練習曲より
第6番「夏の名残のバラ」による変奏曲
シューベルト:華麗なロンド ロ短調 Op.70, D895
フバイ:カルメンによる華麗な幻想曲 Op.3, No.3

出演 中野りな(ヴァイオリン)
津田裕也(ピアノ)



(c)kisekimichiko

2025年
2/2(日) 15:00開演(14:30開場)
第1小ホール

全席
指定

一般 2,500円
友の会 2,200円
学生(高校生以下) 1,500円
※未就学児入場不可

発売日

友の会先行発売 11/28(木)
一般発売 12/5(木)

サンポートホール高松開館20周年記念事業



